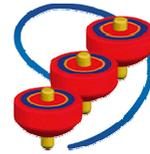




The Y's Men's Club of Kyoto Tops



Chartered
10th. July 1994

3月号

第22巻
第9号
通巻260号

河原祥博会長主題： DOWN TO EARTH
～地に足つけて！ そして魅力あるクラブライフへ～

国際主題 信念のあるミッション(使命・目標) Theme: Mission with Faith
アジア区主題 愛をもって奉仕をしよう Theme: Through Love, Serve
西日本区主題 あなたならできる！ きっとできる You can do it! Yes, you can!
京都部主題 いつも喜んでいなさい Be joyful always
メネット主題 メンと共に メネットはワイズの応援団

会長：河原祥博
副会長：河合博之
高坂訓
書記：河原正浩
牧野篤文
会計：幡山章浩
安田雄策

【20周年記念トックス宣言】笑顔大量生産宣言



聖句 愛は決して絶えません。それに対し、預言[の賜物]があっても、それは廃され、異言があっても、それはやみ、知識があっても、それは廃されます。

的場幸生 Y's 選

コリントの信徒への手紙 第一 13章8節

躍動するトックスクラブ

TOPSのパナーにはこまが三個配されています。TOPSのTOPとは独楽(こま)と言う意味もあります。こまは軸を中心に回転し自由に動き回る。回転しなければ、倒れてしまうものです。トックスクラブは止まる事なく躍動し続けると言う意味でもあります。



今期ドライバー事業委員長になって

ドライバー事業委員長 鹿取俊志

今期ドライバー委員長を務めさせていただいています鹿取です。トックスクラブに入って3年目の年になり初めて委員長をさせて頂いています。

2年目の年にもドライバー委員会に入っており、まー1年やったしできるやろーと思っていましたが、いざ自分が委員長の立場になるとなかなか大変！例会が始まるまでは心配が止まりません！例会始まる何分前には宮尾Ysに「もー大丈夫ですよ！(抜けてる所ないですよ？)」が最近口癖になっています。2年目と3年目では例会の過ごし方が全く変わってしまいました。ここ最近になり少しは余裕が出てきて楽しめるようになってきた所です。

準備委員会が3ヶ月、それからキックオフ例会、続いて納涼例会、準備委員会では今考えるとあんまり理解せずほとんど言われた事をやってる感じです。

初めての例会、7月キックオフ例会は順調に例会が進むかともとても不安でした。本当にあっとゆう間に終わりしっかり進行できたかも自分でわからないぐらいでした。

8月の納涼例会はツーバイ例会としてゲストが沢山来られる例会でした。またお酒が出て、みんなでゲームをして賑やかな例会でした。ゲームの備品、採点、商品、会場と打ち合わせなどなどやる事がいっぱいでした。なるべくミス無く終わる為、けっこな時間を使い準備しました。当日はゲームの司会や採点、ゲーム代金の徴収などなどドライバー委員のみんなに助けていただいても感謝した事を覚えています。だんだん慣れてきていい経験をさせて頂いてるのかなと思えるぐらいにはなりました！

しかし中々自分からこーしたらより面白いなど考える余裕がなくなるとかこなしていつているといった感じです。今期も折り返しが終わりあと例会が4回、メンバーディスカッション例会、スポーツ例会など、去年とは違う例会が続きます。なるべく抜けなく滞り無く例会が進められるよう準備しようと思います。

ありがとうございました。

3月強調月間 JWF

JWFは皆様のご厚意によって支えられています。個人やクラブの記念にあわせて献金をお願いいたします。

| 例会出席 | | BFポイント | | スマイル | | ファンド | | 献血 | |
|------|------------|-----------|-------------|---------------|------------|--------|--|----|--|
| 2月報告 | メンバー数 | 56名 | | | | | | | |
| | (広義会員4名含む) | | 現金 8,169円 | 2月 5,000円 | 2月現金 0円 | 2月 0cc | | | |
| | 出席メンバー | 33名 | 切手 0円 | | | | | | |
| | メネット・コメント | 0名 | | | | | | | |
| | ゲスト | 0名 | | | | | | | |
| | メーキャップ | 0名 | | | | | | | |
| 出席率 | 61% | 累計 8,169円 | 累計 116,000円 | 収益累計 722,066円 | 累計 3,200cc | | | | |

TOF例会 (2月例会)

日時: 2016年2月10日
場所: 京都YMCA

森田茂実Y's

2月10日(水)、今期のTOF例会は地域奉仕委員会が新たに支援を検討している「聖嬰会」の施設長の杉野義人氏をゲストスピーカーに迎え三条YMCAのマナホールに於いて開催されました。廣田ワイズのTOFの主旨説明とギター演奏の後、施設長の話をお聞きました。

「聖嬰会」の正式名称は「社会福祉法人カトリック京都司教区カリスト会児童養護施設京都聖嬰会」と言い設立されたのは、明治10年で児童養護施設としての事業を開始したのは明治19年からだそうで昭和37年から現在の場所(衣笠)に移転したそうです。平成17年に現在のカリスト会が経営主体になり平成23年に本館を大改修されて住環境が良くなったそうです。施設長の杉野さんは元々教師をされていたそうですが教え子との縁がきっかけで職員とられたそうです。その他「聖嬰会」の現状等をお聞きました。

「聖嬰会まつり」に2回程お手伝いにトップスクラブからメンバーが参加しているので、これからどんなお付き合いになるのかというところでしょうか。

出席メンバーが40人不足だったのですこし寂しい例会だったのが残念でした。



京都部第二回EMC懇談会

日時: 2016年2月6日
場所: キャンパスプラザ京都

河原正浩Y's

2016年2月6日(土)京都駅前キャンパスプラザに於いて第2回EMC懇談会が開催され予定では、的場EMC委員長と担当三役河原2名での出席でしたが、前日からの的場委員長インフルエンザに罹り高熱、咳が大変で私1人で出席してまいりました。冒頭に船木舞鶴YMCA委員長、佐古田YSも賀詞交歓会のアピールに来られ現状を話され後懇談会へと。京都部より約30名程度が出席され山岸京都部EMC主査さんの進行で始まり、山岸主査より京都部の期首からの半期報告がされメンバー増加率が良くなくドロップも目立ちこのままでは、期首のメンバー数を下回ると、残り半期メンバー増強のアピールをされ少し遅れて高田部長が到着され部の想い等と話され、小野EMC事業主任からは、過去の書庫から素晴らしいデータ等をまとめられまずは区の現状からそして過去10年の年齢調査、各クラブのメンバー推移TOPSは2004年度16名で2014年度は50名+34名増加率213%ダントツの増加です表を見るとビックリです。後半は出席クラブ代表者から、期首から半期報告がされ今期はどのクラブもメンバーが思ったように増えない出席率が悪い、ドロップがあると話され例会の見直しや色々な面で入会しやすいクラブ作りを考えたりドロップを無くす事が重要な課題となり懇談会終了となり、懇親会へと流れて行きました。

CSチャリティ・ボウリング大会

日時: 2016年2月28日
場所: しょうざん





平成28年2月21日(日)京都北部のゲスト19名、遠藤西日本区理事、高田京都部部長をはじめとする京都部からは13クラブが参加し総勢74名の参加となりました。

第1部の講演会では暴力追放推進センターの上原忠晴氏を招き、反社会的勢力の対応を解りやすく面白おかしく語っていただき、何度も聞きたいと思う内容でした。

第2部の賀詞交歓会では、舞鶴の方が舞鶴のゲストを呼んでいただくという良い流れが生まれ、舞鶴ワイズメンズクラブ設立に向け自ら拳手いただけるなど、非常に実りある会合ができたと思います！今後も定期的に舞鶴と係わることになると思いますので、是非トップメンバーの皆様も新たに交流に参加いただければと思います。

京都トップスクラブ参加者 船木順司、河原祥博、河合博之



EMC7がミ-講師を終えて...

内田勝Y's

拙い講師をさせて頂いたんですが、これも私の自己啓発・自己研鑽そのものになりました。自己研鑽、自己啓発は大人の楽しみのひとつではないかと思っております。

ただ、なかなかインプットしたものをアウトプット出来る機会が無いのが現実ではないでしょうか。そう言う意味で私自身が最も実り多い貴重な時間になりました。沢山の受講頂いたメンバーにただ、ただ感謝致します。ありがとうございました。

知識は己の仕事に必要なものであることは間違いないですが、知識だけあってもそうは問屋が卸しません。アウトプットし、また、インプットする中でその出し入れした後に少しだけ残るカスや勤みたいなのだけが相手に届くと感じます。

また、少しだけカスを作る事が出来たのも皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。

第23期河合会長期役員

| 役員 | 氏名 | 事業委員会 | 氏名 |
|-----------|----------|--------------|----------|
| 会長 | 河合博之 | Yサ・ユース事業委員長 | 岡本昭義 (初) |
| 次期会長(副会長) | 山下大輔 | 地域奉仕・環境事業委員長 | 巴山直久 |
| 副会長 | 宮尾勝巳 | EMC事業委員長 | 舞田智之 |
| 書記 | 清水寿和 (初) | 交流事業委員長 | 木村亘宏 |
| 書記 | 八木薫史 (初) | ドライバー事業委員長 | 四辻吾朗 (初) |
| 会計 | 倉卓也 | ファンド事業委員長 | 内田勝 (初) |
| 会計 | 田頭邦彦 (初) | ブリテン事業委員長 | 石田博紀 |
| 監事 | 新山兼司 | ビジョン事業委員長 | 東田吉末 |
| 監事 | 高坂訓 | メネット事業委員長 | 河合淳子 |

エコ標語

捨てる前 知恵と工夫で リサイクル

東剛士Y's 選

スケジュール 3・4月

3月 5・6日 次期会長・主査研修会
 9日(水) 通常例会
 13日(日) リーダー卒業祝会
 19・20日 ミニバスケットボール大会
 30日(水) 役員会

4月 2・3日 次期役員研修会
 17日(日) リトセン夜桜フェスタ
 24日(日) スポーツ例会
 27日(水) 役員会
 30日(土) YYYフォーラム

1. 第12回インターナショナル・チャリティーラン参加申込開始

3月5日(土)より第12回インターナショナル・チャリティーランの参加申込受付を開始します。

協賛のご支援も受付中です。ご協力よろしく申し上げます。

参加申込みは、リーフレットの専用振替払込用紙に必要事項をご記入の上、京都YMCA三条本館1F窓口にてお手続きいただくか、大会HP(<http://kyotoymca.or.jp/c-run>)のメールフォームよりお申込みください。協賛お申込みは、リーフレット同封の協賛申込書にご記入の上、京都YMCA三条本館1階窓口にてお手続きください。

2. 第27回全国車いす駅伝競走大会

宝ヶ池国際会館前を出発、西京極競技場までの21.3Kmを5つの区間に分けて駅伝を行います。ワイズメンズクラブのボランティアが、各中継所及び西京極競技場での選手の介助をボランティアで行います。

日 時 3月13日(日)午前8時～午後4時

場 所 (集合)宝ヶ池グランドプリンスホテル1階ロビー

(解散)西京極競技場または京都駅八条口

3. The Y cup第3回京都ミニバスケットボール大会

今年で3回目になるThe Y cup京都ミニバスケットボール大会を下記の日程で開催します。

大会当日ボランティアを募集しています。ボランティア可能な方は京都YMCA(担当加藤)まで

日 時 3月19日(土)20日(日)午前9時～午後5時まで

会 場 京都市横大路運動公園体育館

4. 第2回マイ・マイフォーラム

聴覚障がい児プログラム研究会「マイ・マイ」が、「聴覚障がい学生の就職」をテーマにフォーラムを開催します。当事者の立場から、また受け入れる企業の立場からのお話を通して情報交換をし、理解を深める機会です。ぜひご参加ください。

日 時 3月20日(日)午後1時30分～4時

場 所 京都YMCA三条本館 マナホール

参加費 無料

情報保障 手話、要約筆記、FM補聴システム

お申込み (TEL)075-231-4388/(FAX)075-251-0970

(E-mail)kyoto@ymcajapan.org

お申し込みの際、氏名、年齢(学年)、連絡先をお知らせください。

5. 平和のための開発教育セミナー

平和をテーマにした「開発教育」の入門編のセミナーの第3回目です。1回だけの参加も可能です。

ぜひご参加ください。

日 時 3月25日(金)午後7時～9時

テーマ ちがいのちがいがい

場 所 京都YMCA三条本館204号室

対 象 興味と関心のある方

参加費 無料

お申込み (TEL)075-231-4388/(E-mail)kokusai@kyotoymca.org

電話またはメールにて事前にお申込みください。

6. チャリティーライブ

例年、京都YMCAではチャリティーコンサートを開催し得られた収益金をインド・ランチYMCAが取り組んでいるハンセン病患者とその家族のコミュニティーの支援に用いてきました。

今年は、参加者の皆さんが楽しめるよう歌や音楽が好きな有志によるチャリティーライブイベントを開催します。出演者も募集中です。ぜひご参加ください。

日 時 3月27日(日)午後5時～8時(受付開始:午後4時～)

場 所 オールディーズライブハウス アメリカングラフティーズ
(京都市中京区木屋町通六角西入ル 六角テラスビル1階)

参加費 6,000円(フリーフード、フリードリンク付き)

お問合せ・お申込み

活動推進専門委員 北川まで

(TEL)075-344-6210/(FAX)075-744-1970

(E-mail)kitagawa@mat-c.jp